

HI 701
デジタル残留塩素チェッカー
遊離塩素0.00-2.50ppm

HI 701

デジタル残留塩素チェッカー 遊離塩素:0.00~2.50ppm

デジタル残留塩素チェッカーHI 701は遊離塩素濃度を測定します。
「簡易的な試薬キット」と「高価なデジタル測定機」のギャップを埋める安価なデジタル吸光光度計です。
手のひらサイズの本器は遊離塩素濃度をデジタルで表示します。

- 公定法で定められた「DPD試薬を使った吸光光度法」に準拠
- 0.00~2.50ppm (mg/L) の遊離塩素を測定
- 粉試薬と錠剤試薬を選択可能



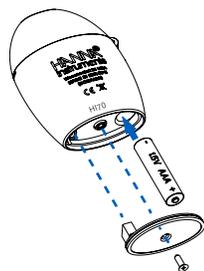
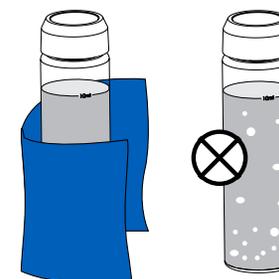
ケースに一式同梱しています



仕様	
測定範囲	0.00~2.50 ppm (mg/L)
分解能	0.01 ppm (mg/L)
精度@25°C	±0.03ppm ±測定値の3%
発光源	LED (525nm)
受光部	シリコンフォトセル
測定原理	DPD法
使用外部環境	0 ~ 50 ° C 相対湿度95%以下 (結露のないこと)
電源	単四アルカリ電池 1個
自動電源オフ	2分間の未使用后および測定終了の2分後
サイズ	長さ86.0 x 幅61.0 x 厚さ37.5 mm
重さ	64 g
同梱物	HI701 デジタル残留塩素チェッカー、試薬6回分、測定用ガラスセル2本、ガラスセル用キャップ2個 単四アルカリ電池1本、日本語取扱説明書、ケース
試薬	HI 701-25 (25袋) HI 93701-01 (100袋) HI 93701-03 (300袋) HI 93701-FJ (錠剤500錠)
バリデーター (標準液)	HI 701-11

正確な測定のために

- サンプルにゴミが含まれていないことを確認してください。
- ガラスセルをチェッカーにセットするときは、セルに水滴が付いておらず、指紋や油分、汚れのない状態にしてください。
- HI 731318マイクロファイバークリーニングクロス、またはキムワイブなど糸くずの出ない布でガラスセルをよく拭いてください。
- ガラスセルを振ると気泡が発生し、測定値が高くなる場合があります。正確な測定を行うには、ガラスセルを静置するか軽く叩くなどして気泡を取り除いてください。
- 反応させた検体(サンプル)を、試薬添加後あまり長く放置しないでください。精度に影響が出ます。
- 測定後は、すぐに試料を廃棄してください。ガラスに汚れがこびり付く場合があります。



電池交換

バッテリーを節約のため、2分間使用しない場合は電源がシャットダウンします。新しいバッテリーは最低5000回測定できます。

バッテリーを交換するには、次の手順に従います：

1. ON/OFF ボタンを押し続けて、チェッカーの電源を切ります。
2. チェッカーを逆さまにし、ドライバーでネジを外し、電池カバーを取り外します。
3. 古い電池を取り外し、新しい1.5V単4電池と交換します。マイナス側から挿入します。
4. 電池カバーを元に戻し、ネジを締めてください。

仕様・測定方法

1. ON/OFF ボタンを押して、チェッカーの電源を入れます。"C.1" "Add"が表示され、"Press"が点滅します。
2. ガラスセルに測定サンプル(検体)を10mL入れ、キャップを閉めます。チェッカーにセルを挿入してカバーを閉めます。
3. ON/OFF ボタンを押すと"C.2" "Add"が表示され、"Press"が点滅し、ゼロ設定の完了を知らせます。
4. チェッカーのカバーを開けてガラスセルを取り出し、セルのキャップを開けて試薬1回分を添加します。
キャップを被せて20秒間、泡立たない程度に静かに振り混ぜてください。
5. ガラスセルをチェッカーに入れてカバーを閉じ、2~3秒ON/OFF ボタンを長押しすると60秒間のカウントダウンが開始します。
6. カウントダウンが終了すると測定が開始され、画面上に遊離塩素濃度が表示されます。

